

外国人生徒等の学習・就労支援を充実します

予算額 3, 343, 881千円

とりまとめ
教育委員会高等学校教育課
教科・定通指導グループ、内線3903・3904
(ダイヤル)052-954-6787

本県は、日本語指導が必要な外国人の児童生徒数が全国で最も多く、かつ今後も増加が予想されることから、小・中・高等学校、特別支援学校に在籍する外国人幼児児童生徒の学習・就労支援を充実します。

1 外国人生徒等の教育支援 42, 966千円

(1) 外国人生徒等教育支援員の配置拡充 41, 448千円

日本語によるコミュニケーション能力が十分に身に付いていない外国人生徒等の学校生活をサポートする教育支援員の配置を拡充します。

高校（拡充）、特別支援学校（新規）

(2) 小型通訳機の導入（新規） 1, 518千円

外国人生徒等が多く在籍する県立学校に多言語対応の小型通訳機を導入し、活用効果の検証を図ります。

定時制高校 23校、特別支援学校 2校

2 就労アドバイザーの配置（新規） 8, 330千円

定時制高校の外国人生徒等の正規雇用の就労先を開拓（企業訪問等）する「就労アドバイザー」を配置します。

配置人数 3人

3 語学相談員の派遣 35, 878千円

外国人生徒等の在籍する小中学校へ語学相談員を派遣し、日本語初期指導の補助や母語による生活適応相談などの訪問支援を行います。

配置人数 ポルトガル語 4人、スペイン語 4人、
フィリピン語 3人

4 日本語教育適応学級担当教員の配置拡大 3, 256, 707千円

小中学校に在籍する日本語指導が必要な外国人生徒等の学習支援を行うため、在籍人数に応じて日本語教育適応学級担当教員を60人増員します。

配置人数 493人

